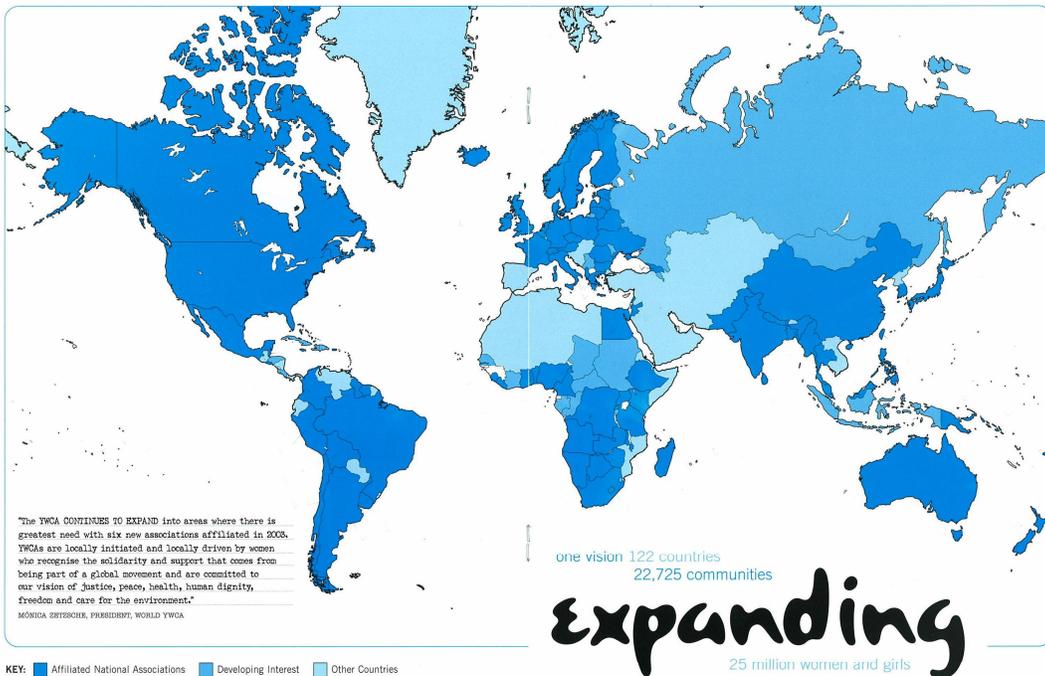


World YWCA

World YWCA Annual Report 2003-2004

世界 YWCA 年間活動報告書 2003 - 2004 年

 > Mobilising Women Worldwide



日本語版作成

日本YWCA

はじめに

YWCA は？

貧しい人。暴力の被害者。HIV/AIDS と共に生きる者。避難民。介護者。農家。母親。先生。地域で活動する人。そしてなにより女性であり、先頭に立って変革を導く人。

YWCA は変革の担い手として、世界をすべての人々にとってより良い場所に変えるために村で、町で、都市で日々活動しています。社会が直面するさまざまな問題の解決に取り組んでいます。私たちは、姉妹・兄弟・親や子どもたちの命を脅かす病気の蔓延をくい止めるため、知識と力を合わせて闘っています。社会に影響を与えられる場で声をあげています。新しい世代に私たちのスキルと知恵を伝え、社会における私たちの地位を高めるための変革がいかに重要かを知らせています。資源を集め、姉妹や娘たちのリーダーシップを育てる機会を広げています。また、継続性と責任のある組織を構築し、助けを必要としている国や地域へ活動を広げています。パートナーシップを強めることで、知識や影響力・能力を一層強化しています。

私たちは YWCA 運動に全力を注ぎます。YWCA は信念をもって運動に力を尽くす 2,500 万人の女性と少女による地球規模のネットワークをもち、22,775 地域と 122 カ国で、正義・平和・健康・人間の尊厳・自由・環境保護のために活動しています。

これは私たち YWCA の 2003 年 2004 年の活動報告です。

> Mobilising Women on AIDS

女性の力を結集して AIDS 問題に取り組む

「AIDS は地球の危機です。それが女性に大きな影響を与えています。突きつけられた問題は大きくても、私たちはこれで希望を失ったりあきらめたりはしません。これはリーダーシップを発揮する機会なのです。」

世界 YWCA 総幹事 ムシンビ・カニヨロ

AIDS は現代の女性と少女にとって最大の地球規模の危機です。AIDS 感染率が最も高いサハラ砂漠以南では、HIV/AIDS に感染している 25 歳以下の 4 人に 3 人は女性です。さらに HIV/AIDS に感染している大人の 57% が女性なのです。世界的にも、HIV/AIDS とともに生きる 3720 万人の半数が女性で、その数は増え続けています。

世界規模で女性と少女のために活動する最大の団体のひとつとして、1999 年以来、世界 YWCA は積極的にこの致命的な病気に闘いを挑んできました。YWCA の世界規模での行動計画の中心は、HIV/AIDS と闘うために村やコミュニティで女性のリーダーシップを結集することです。数百万人に上る会員の広がりを活かすことこそが、HIV/AIDS に感染・発症している人のニーズに応え、感染を減らすために必要なことなのです。

YWCA はさまざまなレベルにおいて、HIV/AIDS の蔓延に対処するためにプログラムの基礎を築いてきました。YWCA は、アフリカにあるすべての YWCA を含む 67 カ国の YWCA において女性と少女にリプロダクティブヘルス(性と生殖に関する健康)教育を提供してきました。コミュニティレベルで女性のリーダーシップを結集し、HIV にまつわる汚名や差別をなくすための教育ツールを数多く開発してきました。世界 YWCA は世界中の YWCA のネットワークを超えて、女性や若者の生活をよりよくするために、他団体と協力関係を結んでいます。これらの協力体制においても、YWCA は HIV/AIDS 問題に対応する女性のリーダーシップの中心的役割を果たしています。

2003-04 の主な活動

- アルバニア、アンゴラ、アルゼンチン、エルサルバドル、エチオピア、ジンバブエにおける新しい活動プログラムに資金を提供しました。これによって 400 人のピアカウンセラーやプログラムのファシリテーター(進行役)を務める運営スタッフが養成され、新たに 120 か所以上で活動を始めました。
- 国連エイズ合同計画(UNAIDS)・モンドラジリスとの共同制作のドキュメンタリー「女性たちが変革をもたらす」が完成しました。これは、女性や少女たちにとって HIV がいかに衝撃的で影響を与えているかを強調し、この流行病の蔓延に対する闘いに世界中の女性たちが立ち上がることを目的としています。この映画は 44 カ国の国々でテレビ放送の全国ネットを通じ広域にわたって放映され、さらに 17000 コピー以上がインターネットからダウンロードされています。なおこの映画は HIV/AIDS とさまざまな段階で取り組んでいる 150 カ国と 1400 の組織に配布されました。
- アフリカの各 YWCA と協力して、感染予防と感染者への支援をコミュニティで行う YWCA がどれだけよい影響与えることができているかを評価するためのツールの開発を始めました。

- 「HIV/AIDS と共に生きる女性の国際的コミュニティ (ICW = International Community of Women living with HIV/AIDS)」や国連エイズ合同計画 (UNAIDS) と協力し、100 カ国以上の国々から 1200 人が参加した 2003 年 7 月の YWCA 主催国際女性サミットで、人権侵害についてのヒアリングや記録を通して、HIV に感染した女性たちの証言を共有しました。
- 2004 年 2 月には「女性と AIDS に関するグローバル連合 (Global Coalition on Women and AIDS)」に参加しました。これは社会のあらゆる分野のリーダーが集まり、結束して女性の HIV/AIDS 感染を予防することを目的としています。YWCA は特に草の根コミュニティで活動している若い女性たちのリーダーシップを率先して支援し育成していく役割を担っています。
- YWCA は 7 つの国際的な青年組織と連携して AIDS の蔓延に対処できるよう、若い人々をエンパワーするため、感染防止策として成功事例を幅広く展開するためのプログラムの実施に引き続き取り組んでいます。今後 5 年間にわたって、タンザニア、ウガンダ、ザンビアに住んでいる 100 万人にこのプログラム広める予定です。
- 2003 年 11 月の世界 YWCA, YMCA の祈祷週では、「人間としての癒しを求めて - AIDS との闘い」をテーマに、キリスト者の視点から AIDS 問題に対する無関心・恥辱・ジェンダーの公平性・AIDS 患者の人々の人権などの問題について研究調査を深めました。
- 印刷物やメディア、インターネットなどの媒体を通して女性や少女たちに AIDS が及ぼす悪影響への意識を高め、生活改善の成功例の紹介などの啓発促進に努めています。
- 2003 年 12 月 1 日、エキュメニカル・アドボカシー連盟やその他国際的組織団体と共にスイスのジュネーブで「世界 AIDS デー」を開催しました。ここでは、汚名や差別と闘うために「生きよう、支えよう」キャンペーンを行いました。
- 2003 年 12 月、ナミビアで、HIV/AIDS について国連エイズ合同計画 (UNAIDS) 神学者の研究会がありました。この研究会では、キリスト教神学者の立場から AIDS に感染した人々に向けられている汚名や差別の問題に対処するための枠組みを作りました。これは理論的な根拠を示す参考資料として、教会の指導者向けのツールとして作られました。
- エキュメニカル・アドボカシー連盟、国連エイズ合同計画 (UNAIDS) の HIV/AIDS に関するエキュメニカル・ワーキンググループ、アフリカ連帯神学者会、女性時事問題サークル、国際 AIDS 会議開催準備委員会、青年 CEO の会など、YWCA 以外のグループやパートナー団体に女性と少女に関わる問題についての専門知識を提供しました。

responsive

> Speaking out for Justice

公正を求めて

「私たちは黙っていません。女性は虐待や暴行を受け、HIVに感染し、家族が食べていくために奮闘しています。YWCAは、女性の団体として、これらの問題についてはっきりと意見を表明します。私たちはまた、女性にそのように多くの苦しみを与える社会を変えるために、経験を共有し協働する場を提供します。」

世界 YWCA 会長 モニカ・ゼツェ

世界 YWCA のアドボカシー・アジェンダでは、4 つの優先課題を重点的に取り上げています。公正ある平和・人権・女性の健康・HIV/AIDS・持続可能な開発です。このアジェンダのもとに、122 カ国の会員が力を合わせ、世界中の女性に影響をおよぼす深刻な問題について世界中で意識を高め、解決に向けて取り組んでいます。YWCA は、女性と少女の生活を改善するための活動を草の根レベルで展開すると同時に、人権やジェンダーの平等を世界中で促進するための国際的なロビー活動を行っています。

女性が自分の生活やコミュニティに悪い影響を及ぼす問題に声をあげ、共通のアジェンダのもとに結束する場になることは、世界 YWCA の今年度のアドボカシー活動の最重要課題でした。世界 YWCA 総会と並行して、2003 年 7 月 6 日～7 日オーストラリアのブリスベンで開催された国際女性サミットでは、女性たちが、それぞれの国における人権侵害や活動について証言しました。この人権侵害に関するヒアリングをきっかけに、世界各国の YWCA と協力団体はグローバルな問題への対策を講じるようになりました。また、このサミットの場で、世界中から集まった女性専門家たちは、リーダーシップに関する優先課題を検討し、参加者は北京行動綱領の実行についての国際的な進捗を評価することができました。

世界 YWCA のアドボカシーは、世界 YWCA の国連の諮問機関としての立場を活かして、それぞれの国のジェンダーの不平等や人権侵害について直接報告するために、女性を国連やその他の国際的なフォーラムに出席させることに引き続き取り組みました。特に若い女性にこのようなリーダーシップを発揮する機会が与えられました。世界 YWCA は、また、国際的な紛争に対する女性たちの認識を高めるために、イスラエル、ヨルダン、パレスチナに代表団を送りました。パレスチナで日々の苦闘と人々が抱える問題を直接学び、どのように対応するのが適切かを知るためです。また、開発事業で加盟 YWCA によって運営されている 30 の地域で始まったプロジェクトを支援しました。これにより、女性がコミュニティ全体の利益のために、持続可能な開発の先頭に立つことができるようになりました。

2003～04 の主な活動

- 国際女性サミットをコーディネートし、50 の協力団体と 100 カ国の YWCA から 1200 人の女性が参加しました。

平和と公正・経済的公正・女性に対する暴力・HIV/AIDS に関する人権聴聞会を開き、深刻な被害を受けた女性たちが、個人の証言や変革への戦略を共に話し合う機会をつくりました。

本会議では、世界中から集まった優れた女性専門家が、グローバルイゼーション・平和構築・宗教間対話・HIV/AIDS・人権・持続可能な開発・マスメディア・資源の活用など、女性のリーダーシップを必要とする優先分野に焦点を当てました。

1995年の北京行動綱領から12の緊急課題についてのワークショップが開かれ、ジェンダーの平等を獲得するための闘いのこれまでの成果や継続している取り組みを見直しました。

グローバルカフェは女性たちが自分の考えや会議で提起された問題に対する意見や知識を話し合う場になりました。

先住民女性の会議では、経験を話し合い、世界中の先住民女性が直面している権利の侵害について取り組むアジェンダを作りました。

若い女性の会議ではリーダーシップを発揮するためのスキルを学び、雇用・意思決定・リプロダクティブヘルス(性と生殖に関する健康)・紛争の影響などの世界中の若い女性の重要課題について話し合いました。

さまざまな宗派の礼拝では、変革を導く原動力としての信仰を深めました。

- 2004年イースターに、中東への“Witness Visit”を主催し、イスラエル、ヨルダン、パレスチナに代表団を派遣しました。15ヶ国の代表たちは、あらゆる国の活動家や団体と会合を持ちました。パレスチナでの絶え間ない紛争へのより強力で効果的な解決方法を見つけるためです。
- 占領地域に住む人々の暮らしを立て直し、希望を回復させるために、パレスチナのオリーブの木キャンペーンをYWCAが主催しました。
- 2004年3月、ニューヨークで開かれた「女性の地位についての国連委員会」で、他の団体と合同で、紛争解決と平和構築のプロセスへの女性の参加についての声明を出しました。
- 子どもの権利の侵害、武力紛争での女性への暴力、女性の人身売買について、2004年3月から4月の国連の人権委員会で強く訴えました。NGOの人身売買についての共同声明は、女性と少女の人身売買について国連の特別調査委員会を設立する決議の採択につながりました。
- 2003年12月にスイスのジュネーブで開かれた情報社会についての世界サミットで、女性と少女の情報とコミュニケーション技術の発展への参加と平等なアクセスを訴えました。
- 2004年1月のブラジルで開催された世界社会フォーラムでは、さまざまな宗教団体と協力して、あらゆる宗教の観点から公正な貿易を考えるセミナーと国際コース・エキュメニカル・キャンプを主催しました。
- 30の開発プロジェクトに総額22万8,654スイス・フランを投資し、コミュニティで女性がリーダーシップによって、女性の健康とHIV/AIDS・経済的公正と環境・人権と公正ある平和という4つの優先課題の解決につながりました。世界YWCA小規模プロジェクト基金を通して、ヨーロッパのYWCAをはじめ、次のYWCAが資金を利用しました。

アンゴラ、ナミビア、ジンバブエ、アルバニア、ブラジル、アルゼンチン、エルサルバドル、カメルーン、ケニア、マラウイ、パキスタン、ベラルーシ、ウルグアイ、レバノン、インド、エストニア、ボリビア、ペルー、パレスチナ

outspoken

> Developing Leadership

女性のリーダーシップ養成

「長期的なビジョンを持つためには数世代にわたる長期的な働きが必要なので、YWCA は若い女性のリーダーシップに投資しているのです。協力的でリーダーシップを発揮できるようなリーダーシップを養成する場を若い女性に提供することによって、私たちは、社会変革に必要な展望と行動を持続可能なものとしています。私たちはまた、社会の他の分野にも進出し変革に影響を及ぼすことのできる、分析的思考にたけ、十分な知識を持ち、よく訓練された女性リーダーという強力な資産を創り出しています。」

世界 YWCA 総幹事 ムシンピ・カニヨロ

家族やコミュニティの中心での非常に重要な役割に加えて、女性のリーダーシップは、グローバルな問題や不正に対する持続可能な解決に必要なのです。YWCA を通じて、女性はこのような潜在能力を見つけ、リーダーになり、その能力を用いて変革することができます。YWCA のリーダーシップ養成により、女性はコミュニティの問題の根本的原因を分析し、持続可能な解決策を生み出すことができるようになります。また知識の積み上げ、協働、現時点での最良の取り組みを共有することの重要性を実感できます。メンター制やトレーナー養成課程を実施し、より多くの女性のリーダーシップに取り組んでいます。YWCA の目指す、より良い未来を支えるためのリーダーシップ養成は主に若い女性を対象にしています。毎年 160 万人を超える女性や少女が、YWCA の運動を通してリーダーシップを身につけています。

2003 年 7 月、世界 YWCA 総会は、女性、特に若い女性のリーダーシップ養成に焦点を当てた理想的な綱領を定めました。100 ヶ国以上の国から女性が集まった総会では、グローバルな問題に取り組む女性の力を養成する教育と訓練を実施しました。また、若い女性のリーダーシップが高く評価され、世界 YWCA の常任委員の 50% に若い女性を選出され、全代議員の 22% を若い女性が占めました。YWCA 運動はまた、女性のリーダーシップ養成のための機会とそのための永久基金創設を盛り込んだ長期ビジョンを再確認しました。世界中の女性がこのキャンペーンに参加し、グローバル基金を構築するための取り組みを紹介しました。

2003-04 の主な活動

2003 年 7 月の世界 YWCA 総会ではリーダーシップ養成プログラムが開催され、次のような成果をあげました。

- 世界各国から参加した 400 人を超える女性が、女性研修プログラムに参加しました。このプログラムの目的は、コミュニケーションとメディア・組織力の強化・コミュニティを変えるためのアドボカシー・効率的な管理・持続可能なコミュニティ・メンバーシップ・行動計画作成などのスキルを高めることにより、課題の解決に向けて行動する力を女性たちに与えることでした。
- 情報技術研修センターとインターネットカフェでは、77 ヶ国から参加した女性が、新しい情報通信技術に対する技能やアクセスする力をつけました。
- 若い女性のためのプレ総会を通じて、130 人以上の若い女性が、変革のリーダーになる能力を高めました。それにより、若い女性たちは、地域社会や全世界での課題に取り組むためのトレーニングを受け、行動計画をたてることできるようになりました。研修は、また、若い女性のネットワークを強化しました。

- 110 人の女性に、スタッフやボランティアの役割・関係および紛争解決・行動計画・資金調達・選挙方法・使命に焦点を当てた会議を効果的に管理する技術をトレーニングしました。
- 総会で新たに加盟した 6 つの YWCA (アメリカ領サモア、アンゴラ、ベニン、コンゴ民主共和国、グルジア、マラウイ) と将来の加盟を目指すインドネシア、ホンジュラス、東ティモール、スーダンのために組織発展のための訓練を行いました。
- それぞれの国やコミュニティで変革の担い手であった 4 人の女性に「変革を導く女性賞」を授与して、リーダーシップを讃えました。受賞者は、彼女たちのリーダーシップを養成する役割を果たしてくれた YWCA に謝意を表明しました。

その他の活動

- 6 人の若い女性が世界 YWCA アドボカシー・インターンシッププログラムを通して、国連の人権委員会と国連女性の地位委員会に出席し、人権擁護の仕組みや国連の活動について学びました。2 人の若い女性が、世界 YWCA オフィスでの 1 年間のインターンシップにも参加し、プログラム開発・アドボカシー・資金調達・コミュニケーション・財務・管理のスキルを高めました。
- 100 カ国以上の国から参加した 1500 人の女性に、女性のリーダーシップ養成のための資源を拡大する YWCA「変革への力」グローバルキャンペーンの資金調達についての研修を行いました。世界 YWCA 総会でのトレーニング・セッション、ワークショップ、行動計画では、参加者は、一般的な資金集めの活動を持続するとともに、大口の寄付を得るためのスキルや財政計画のスキルを学びました。
- グローバル基金設立に向け、85 カ国の女性の努力により、700 万米ドルが集まりました。その中には、ディビット&ルシール・パカード財団とミッドベニンスラ YWCA からの 100 万米ドルの寄付も含まれています。この永久基金は、女性と少女のリーダーシップを養成するためにいつでも利用できる資源を確保するためのものです。
- UNICEF と青年 CEO 同盟が協力して、YWCA の取り組みを参考にしながら、子どもと若者の組織やコミュニティへの効果的な参加方法に関する冊子を作りました。
- 国連人口基金の青少年に関する諮問機関に参加し、YWCA の若い女性の参加とリーダーシップの経験を伝えました。

powerful

> Building a movement for change 変革への運動

「力を合わせれば、女性の力を実感できる」

2003年世界YWCA総会参加者

100カ国以上から1200人の女性が一つの場に集い、さまざまなことを語り合い、スキルや行動計画について情報交換をするとき、それは変革への力になります。これこそが、2003年7月の世界YWCA総会です。世界YWCA総会期事業会議では、行動を起こすために結集した女性の力を発展させるための催しが行われました。国際女性サミット・女性研修プログラム・プレ総会および総会後のイベント・本会議やワークショップでのディスカッションを通して、世界中の女性が「変革」という共通のアジェンダに取り組みました。世界総会では、100カ国のYWCAの活動の基盤となる世界レベルの行動計画を見直し、次の4年間この組織を管理運営する新しいリーダーを選出しました。アルゼンチンのモニカ・ゼツェがラテンアメリカ出身では初の会長に選出されました。ラテンアメリカ18カ国で活動している女性グループは、その半数が30歳以下で、彼女はその先頭に立っています。世界総会ではまた、21世紀におけるYWCAのアイデンティティと価値などYWCA運動の将来にとって非常に重要な問題も取り上げられました。2007年ケニアのナイロビで開催される次の世界総会で、これらの問題や組織の管理強化、代表体制に関して勧告を行う特別作業部会が設置されました。

世界YWCAが変革に向けて力強い運動を推し進めるにつれ、私たちは世界中のYWCAの適切な組織運営と説明責任の重要性を認識します。これを受けて世界YWCAはYWCAのさまざまなプログラムと事業や管理を最も良い形で実践するために、運営と管理の基準を開発しました。これらは加盟YWCAと国内および国際的なNGOが協議して開発されたもので、2007年までに達成するという目標を掲げて世界YWCA総会で採択されました。

力強い運動の重要な要素の一つは、会員が豊富な知識や技術そして資源を活用できることです。世界YWCAの相互援助事業は各YWCA間で資源を共有し、経験を交換できる極めて重要なルートです。すべての加盟YWCAは財政援助やスキルバンクに登録されているトレーニングや専門知識・技術の提供を通して貢献することが期待されています。すべての加盟YWCAはこのプログラムに支援を申請することができます。トレーニングや国内のミーティング・活動の拡大・経営・人的資源などの組織の能力を強化することができますし、YWCAの独立に寄与するイニシアティブを強化することもできます。2003～04年には48のナショナルYWCAと協力団体がこの事業に資金を提供し、43のナショナルYWCAが資源を有効に活用しました。運動の連携と利用可能な訓練を強化するために、世界YWCAは、2003年7月の世界総会に参加を促すため、66のナショナルYWCAに援助を行いました。

Global

Hopeful

「私には未来への希望があります」とルワンダの 19 歳のジャクリーン・ウムガンワは言います。「兄弟と一緒に勉強を何とか最後までやりとげたい。私たちは絶対に AIDS に感染したくないのです。私たちはどうしたら AIDS の感染拡大を食い止められるかを学んでいます。YWCA では、私たちがこれまで学んだことを活かさなければならないこと、トレーニングに参加できなかった人に学んだことを伝えなければならないと教えられています」と話しています。

AIDS で両親を失ったジャクリーンは自分の家族と村の未来に希望を取り戻しました。YWCA を通して、ジャクリーンは収入を得て 3 人の兄弟との生活を維持していく方法を学びました。そしてまた、両親の生命を奪い、2 人の弟の身体を蝕んでいる恐ろしい病気の拡大を防ぐ方法を学びました。

世界 YWCA の援助のもとに、ルワンダ YWCA・HIV/AIDS カウンセリングセンターは、2003～04 年に 60 余名にマイクロクレジットとトレーニングを提供し、またルワンダのムハンガ地区の 100 名を超える HIV/AIDS 感染者のために支援グループを設立しました。村々や学校で人々の関心を高めるキャンペーンを行い、沈黙を破って HIV/AIDS に関する汚名をなくすよう訴えました。19 人の女性を養成して、自分の家族や村に HIV の予防法を広めました。ジャクリーンはその一人で、彼女の絶望は希望へと変わり、AIDS と闘う力となりました。

女性に希望・知識・力を与える

YWCA は一人ひとりの女性が未来への希望を取り戻し、すべての人たちのためにより良い世界を創り出す女性のリーダーシップを結集しています。YWCA は「変革への力」グローバルキャンペーンを通して、女性たちが、ちょうどジャクリーンのように、変革への力を見出す機会と資源を拡大しています。2500 万米ドルの永久基金を設立するという目標のもとに、YWCA は、リーダーシップ養成プログラムの規模を拡大し、世界中で実施するための持続的な財源を創出しています。85 カ国でたくさんの人たちが後の世代のためにこの遺産の創設に取り組んでいます。

世界 YWCA はこのビジョン実現の世界中のキャンペーン支持者に感謝し、また「変革への力」グローバル基金を設立するために貴重な資金を寄付してくださったキャンペーンリーダーの方々、すなわち故ローレンス・S・ロックフェラー、デイビッド&ルシール・パッカート財団、ミッドペニンスラ YWCA、セシリア・クー、台湾 YWCA、スーザン・パッカート・オア、ウィリアム & フローラ・ヒューレット財団そしてアン・スタラードに謝意を表します。

グローバルキャンペーンについての詳細は次のメールアドレスにお問い合わせください。

campaign@worldywca.org

www.worldywca.org/campaign.

> Resourcing Women's Leadership 女性のリーダーシップを支える

「世界 YWCA は、最大限の透明性と説明責任に優先的に取り組んでいます。私たちはすべての貴重な資源に責任を持ち、最大の効果を上げられるところに配分します。私たちは引続き資源を拡大し、組織の将来および女性や少女のための重要な仕事のために適切な投資を行います。」

世界 YWCA 会計役員 モーリーン・ベル

2003-2004 年に、宗派を超えた協力団体・個人会員・姉妹団体・その他の支援者から惜みない財政支援、専門的知識、その他の資源を世界 YWCA に提供してくださいました。これらの協力団体からは、進行中のアドボカシー・リーダーシップ養成プログラム、30 ヶ国での YWCA のための小規模プロジェクト資金、43 の加盟 YWCA の能力開発に援助をいただきました。世界 YWCA は、オランダ、ドイツ、ノルウェー、米国の教会関連機関からの援助、個人会員・地域 YWCA・ナショナル YWCA からの加盟費や YWCA 運動やナショナル YWCA、世界サービス協議会からご寄付をいただいたことに感謝しています。

世界 YWCA は、HIV/AIDS と闘うプログラムを拡大し、より多くの団体と協力関係を築いています。HIV/AIDS は財政的にもプログラム・パートナーシップの面でも引続き重要な問題です。ノルウェー教会からの緊急援助やオランダの合同プロテスタント教会からの財政援助をいただきました。また、エキュメニカル・アドボカシー連盟、国連合同エイズ計画、AIDS と共に生きる女性国際コミュニティ、国際女性トリビューンセンター、イシス女性国際文化交流会 (ISIS-WICCE)、世界キリスト教協議会 (WCC)、青年 CEO 同盟などの団体と HIV/AIDS 問題に取り組むための協力関係を結んでいます。

「変革への力」グローバルキャンペーンは、引続き女性のリーダーシップのために活用する資源を拡大し、世界 YWCA への新たな寄付者を得られるよう努めています。85 ヶ国以上の女性たちが、女性と少女のリーダーシップ養成のために 2500 万米ドルの基金達成目標に向けて活発に資金集めを行い、アメリカ、中東、アジア、アフリカ、太平洋地域からすべての YWCA の参加があります。多くの加盟 YWCA が、4 月 24 日の世界 YWCA 日に、女性のリーダーシップのための資金集めに、世界 YWCA 日朝食会を行いました。南アフリカ、スイスならびにカナダ、オランダ、台湾、米国 YWCA のキャンペーン・ボランティアは、大きな贈り物を手に入れるために多大なリーダーシップを発揮しており、その他多くの加盟 YWCA も貢献しています。地域プログラムのための資源確保に加盟 YWCA の努力を強化することも、世界総会プログラムに組み込まれた資金集めの研修やワークショップとともに、引続きキャンペーンの重要な目的でした。

監査済み会計報告書は請求することができます。

エンパワーするNGO



世界 YWCA 年間活動報告書 2003-2004 年 日本語版

編集・発行
日本 YWCA 国際部
2006 年 4 月

翻訳協力：東京 YWCA 国際語学ボランティアグループ いるぷ

連絡先：〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-8
Tel: 03-3264-0661 Fax: 03-3264-0663
E-mail: office-japan@ywca.or.jp